

2021年度 通信制高等学校第三者評価

評 価 報 告 書
登録認定 第006号

学校法人恭敬学園
[北海道芸術高等学校]
[通信制課程]

2021年12月23日

特定非営利活動法人全国通信制高等学校評価機構

提出された各種資料及び2021年11月2日、11月16日に実施した現地調査の結果、貴校通信制の課程の評価は次のとおりとなりました。

学 校 概 要

(設置者名) 学校法人 恭敬学園
(学校名) 北海道芸術高等学校
(所在地) 〒048-2411 北海道余市郡仁木町東町5丁目4-1
(電話)0135-48-5131

(沿革)

2005年 1月 北海道芸術高等学校・設立準備委員会発足
1 1月 内閣府より構造改革特区(教育分野)認定
学校教育法による高等学校として認可
2006年 4月 北海道芸術高等学校 開校(北海道清水町)
札幌・仙台・名古屋サテライトキャンパス 開設
2008年 4月 東京池袋サテライトキャンパス 開設
2012年 4月 福岡サテライトキャンパス 開設
2013年 4月 横浜サテライトキャンパス 開設
2015年 4月 学校法人化に伴い、本校を北海道仁木町へ移転
2016年 4月 本校に宿泊施設 ドミトリーThe SNOWFLAKE 完成

(教育目標、指導の重点 等)

【教育理念】 表情もまた学力である

【教育目標】 「芸術」を通し、高い倫理観・道徳律を養い、コミュニケーション能力・感性に富んだバランスのいい生徒を育成する。

【北芸教育の目的と役割】

多様な芸術科目を設定し、生徒たちの興味・関心のある分野を学習の切り口とし、専門的に学びたいと望む生徒に加え、不登校や学力不振に悩む生徒たちにも、入学時に学力で区別せずと同じスタートラインに立つチャンスを与え、学びのきっかけを作ることを第一の目的としています。

そして学ぶ喜びを知り、目標を持つことで、基礎学力やコミュニケーション能力など、自分自身に必要な力に気付き、自ら学ぶ姿勢を身に付けることで、時代の変化に対応し生きる力へとつながっていきます。

さらには、芸術の学習を通し、知識・技術を修得することで、自らが進むべき進路を決定し、自立し、自活していこうとする態度を育成することが、北芸教育の最終的な目的です。

【特色】

北海道芸術高等学校の特色として大きく次の5つをあげることが出来ます。

- ① 北海道でのスクーリングを毎年義務化し、緑豊かな環境で落ち着いて面接指導を実施している。
- ② 教員は公立出身者を多く採用し、生徒への教科指導と若い先生への指導アドバイスも併せて行っている。
- ③ 本校に隣接するドミトリーを設置し、移動の負担軽減をするなど、体調面で心配することなく面接指導ができる体制を作っている
- ④ 学校設定科目は、学習指導要領に従い、北海道庁総務部学事課から専門的な科目としての認可を受けており、プロで活躍している方を講師として招聘し教員と連携して実技の部分を指導している。
- ⑤ コロナの環境下で、本校教職員が動画を作成するなどサポート体制を充実させている。

これらの取り組みを通して、地域からの厚い支援を得ながら高い学習効果を上げています。

特に、④においては高い専門性を生かした活動を通して地域へ貢献しており、地域からも高い評価を得ています。

総 合 評 価

適	<p>学校運営に関しては、公立の基準を超える十分な教職員が配置されており、教員免許状の取得・所持及び更新の管理は適切に行われている。特に養護教諭3名を配置していることは高く評価できる。 (評価項目1-1)</p> <p>教職員研修も計画的に実施されているとともに連携施設との連携も同法人であるということからしっかりと出来ており、生徒募集及び施設・設備、表簿等の管理も適切に行われている。 (評価項目1-2)</p> <p>学校評価においては、毎年、各分掌の評価項目に従って実施・成果について自己評価を実施し、改善策を話し合うなど、積極的にPDCAを動かす取り組みがなされている。また、技能教育施設を対象に、共通項目による学校評価にも着手している。 (評価項目1-4)</p> <p>教育課程に関しては、関係法令に即して編成されており、特に</p>
----------	---

専門性を高めるカリキュラムを組んでいる。単位修得及び修了の認定は、評価基準に基づいた教員の学習評価をもとに校長が認定している。
(評価項目 2-1)

教科・科目の年間指導計画が策定されており計画に基づいて実施されている。また、生徒の面接指導やレポート提出、放送視聴の各状況は教務システムによって把握され、生徒に適切な指導が行われていることは評価できる。毎年、「東京書籍基礎力診断テスト」を実施し、教育活動の改善に取り組んでいる。
(評価項目 2-2・3)

学校設定教科・科目は「作画表現」、「音楽表現」など表現力に関する多くの分野が開設されており、生徒の興味・関心やニーズに即している。また、面接指導時間数や添削指導回数も適切である。
(評価項目 2-5)

生徒支援に関しては、いじめ防止の基本方針が策定されており、適切に実施されている。教務システムを活用し、いじめの情報共有と解消に向けた進捗状況を速やかに確認できる体制をとっていることは評価できる。
(評価項目 3-2)

また、コース別に選任された担任をスクールカウンセラーや養護教諭がサポートする体制をとり、多様な課題を抱える生徒に対応している。目下、教員全員が NPO 日本教育カウンセラー協会認定の「教育カウンセラー」の資格取得を目指して、支援体制の強化を目指していることは大いに評価できる。
(評価項目 3-2)

進路指導については、「進路の手引き」を作成し、1年次より個別面談を丁寧に重ねている。またコースごとにプロの仕事の体験や見学を行い、自らの興味・関心を確認する機会となっている。
(評価項目 3-2)

その他の部分についても基準を満たしている。

以上、全ての観点において、本機構の評価基準を満たしていると判断する。